

理事室を抗議占拠

和泉

当局の団交拒否、確約破棄を弾劾

本紙既報の学生会中執の一学費値上げ」なる五項目にわたりの理事長——常勤理事の学長③連合教授会の代表として各学部長④対策委員会の代表⑤一部改題問題を検討している責任者⑥学生部長、和泉担当副学生部長を対象とする団交を十五日要請。

な一片の紙切れで学生の正当な要求を拒否してきた。しかしながら十七日中執を中心に数名の学友を代表にして、学生部へ直談。こうした学内の運動の盛り上げに恐怖した当局は、ようやく土曜副学生部長(和泉担当)の団交出席を確約した。

以上のような経過の後に団交は六番教室において二時頃より始まった。当初六番教室での団交を拒否し続けた土曜副学生部長も四〇七番教室を埋めつくす学友三百余名の圧倒的迫求の前に六番教室に行くことを余儀なくされていた。またその最中に彼がもたらした「中教審には興味がないから……」といった暴言を眼の当りに視てしま

った学友の数は二重、三重にもなつて六番教室を人波を埋めつくしていた。突如とした「授業料見送り」受験料値上げ決定」というくそげな学費値上げ策動も踏みにじり強権的に説明の機会も踏みにじり強権的に行使されている。

学友の、当局や学生のバイパスである学生部は当然説明をすべきであるという論理に土曜副学生部長は自らの欺瞞・虚偽に对应。一切閉ざらざるごとく、無益な時が過ぎた。いっこうに進展しない団交は二十一日二時に、再度土曜副学生部長を含めた責任ある大学当局の人間との団交を設定することを確約。この日の団交を終えた。

二日、確約した団交を破棄、仮病で逃亡を決め込んだ土曜副学生部長。当然のことのように大学当局は一切の口を閉ざしたまま。同日正午過ぎより「団交破棄」弾劾・抗議の総決起集会在和泉中庭で開かれた。結果した約五〇名の学友は、当局に対し抗議のデモンストレーションを展開。学生課、続いて教員室前でデモンストレーションに移っていった。

今日この抗議の過程でも明らかにされた秘密裡の学費値上げ策動の進行は来年度も必ずやわれわれにかかれてくるであろう。このことを表裏的に粉砕する闘いはクラス・サークル末端からのわれわれの

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

日中に根ざした闘いの展開がなされていくまで、われわれは新たな人間の生々しい闘いの行方々を強く視ることができるとある。

